

Step to the Future

～未来への一歩

期末テストを終えて感じること

先週末、1学期の総まとめとなる期末テストが終わりました。すでにほとんどの教科で答案が返却されたと思いますが、結果はどうだったのでしょうか？何事においても満足する結果を得るためには、そこに至るまでの過程(努力)が必要になってきます。しかしながら、努力したにもかかわらず結果が出ないこともあります。そのような時こそ、より大きく成長するために必要な期間(準備期間)だととらえ、あきらめずに努力を続けて欲しいと思います。

さて話は変わりますが、5月16日発行の進路通信「第6号」に次のような文章を載せています。

5月実力テストを終えて

……どのクラスも2分前に着席しテストを受ける準備がきちんとできていました。
クラス全体でテストを頑張ろうという意欲が伝わってきました。
今後も続けていって欲しいと思います。

ところが今回の期末テストでは少し様子が違っていました。2分前には着席しているのですが、いつまでも自分の席の近くの人とおしゃべりをしている人が見うけられました。このような行動についてみなさんはどう感じるでしょうか？確かに話の内容はテストに関係のあることなのですが、中には集中してテストに臨みたい人もいます。約1ヶ月前にできていたことができなくなっていること、そしてそのような雰囲気がクラスや学年全体に波及することに危機感を感じずにはいられませんでした。

それに加え、解答用紙の採点中には次のように感じました。解答は丁寧な文字で書くことが大原則ですが、「文字が薄くて読み取れない」人の多さにびっくりしました。日頃から使っている筆記用具(シャープペン)が理由なのかもしれませんが、テストの答案用紙や入学願書等は、他人に「自分を知ってもらう」ための大切なものの一つなのです。そこに書かれた文字を通して、自分の持っている知識だけでなく考え方や内面までを伝えるのです。確かに文字に上手・下手はあるかもしれませんが、でも、一字一句読みやすいように丁寧に記入することは心がけひとつでできることだと思います。毎日の連絡帳である「あゆみ」の記入から気をつけていきましょう。

第2回進路希望調査の記入にあたって

本日、第2回の進路希望調査用紙を配布しました。この調査は7月13日(水)～19日(火)にかけて行われる1学期の三者懇談会の資料となるものです。すでに「第0回」と「第1回」の調査で経験済みですが、記入例をよく読んで間違いのないようにしてください。

★ 学校名は正式名称で書く

兵庫県立明石城西高等学校 (城西だけの記入は今後やめましょう)
(明石清水も同様です)

明石市立明石商業高等学校 (明石商業は市立です)

★ 自分の希望する順に1～4の希望欄(上から)を埋める

★ 複数志願の第2志望がある人は、専用の欄に記入する

★ 推薦・特色・学力・専願・併願などは、きちんと○でかこむ

進路通信 第3号 4月21日発行より

私立高校の受験を考えている人は「転科合格」の希望についても記入してください。出願することで自動的に第1志望以外の学科やコースなどへの「転科合格」の制度が適応される学校もあれば、第1志望以外の学科やコースへの合否判定は希望する場合のみ行う学校もあります。このように私立高校には様々な入試に関するルールがありますので「学科やコースの難易度がわからない」など、疑問に思うことがあれば担任や進路担当まで問い合わせてください。

また、参考資料として「兵庫の私学2023」を配布します。募集学科や定員等の詳細は今後発表されますが、入試説明会・学校見学会・オープンキャンパスの案内や、学納金や部活動実績、奨学金について詳しく記載されています。進路説明会で伝えたように魚住東中でも昨年度は専願・併願あわせて87%、一昨年度は93%の人が私立高校を受験しています(通信制を含む)。この機会に私立高校の受験も視野に入れて進路を考えていきましょう。

最後に、希望調査の〆切は7月1日(金)になっています。しかしこの日程は最終〆切ですので、遅くても前日の6月30日(木)までには提出をお願いします。場合によっては確認のために家に持ち帰り、翌日再提出していただくことも考えられます。進路関係の書類については余裕を持って提出するよう、ご家庭でもご協力をお願いいたします。